

商店街活性化へ協定

横浜市、みずほ銀と 電子決済促す

横浜市は15日、地域商店街の活性化を目指し、みずほ銀行と連携協定を締結した。市内の商店街に対し同行が手掛けるキャッシュレスサービスの普及を促す。非接触の支

店街が独自にプレミアム付き商品券を発行する際などに、同行の「電子商品券／地域振興券」を利用するよう促す。商店街がみずほ銀と契約してサービスを利用した場合、2021年度はシステム手数料を3割引きとするほか、導入に向けた説明会の実施などを計画するという。

また、サービスの決済履歴をグラフ化するなどして、商店街や店舗の販促にも生かしてもらう。横浜市は情報提供などを通じ、取り組みを支援する。同市によると商店街支援での銀行との協定は初めてという。